

(別紙様式4)

平成27年度地域とともにある学校づくりコミュニティ・スクール
推進事業実施報告書

協議会名	篠山中学校地域運営協議会	会長名	熊谷 満
研究内容及び 研究成果	<p><研究内容></p> <ol style="list-style-type: none">1 地域運営協議会における意見交流を通して、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を意識した上で、連携、協力して生徒の健全育成を図る。2 生徒が地域の体育的行事、文化的行事や伝統行事、ボランティア活動等に積極的に参加することにより、公共の精神や協調性の涵養を図る。3 地域とPTA 地区役員との連携を積極的に図る。4 地域の専門的な知識、技能のある方の学校教育への活用を図る。5 学校・家庭・地域が連携し、“あいさつ運動”の益々の充実を図る。6 地域運営協議会が中心となり、学校の環境美化に努める。7 学校だよりやホームページ等を活用し、地域への情報発信を積極的に行う。 <p><研究成果></p> <ul style="list-style-type: none">・授業参観や活動を通じての生徒との交流を通して、学校に対する理解が深まり、よりよい学校づくりに向けての意識の高揚が図れた。・体育祭、文化祭、親子活動、オープンスクール等を通して、生徒の実態を見ていただくことができた。・地域行事等への中学生の参加を通して、地域の方々と交流を深めることができた。・「PTAあいさつ運動」を通じ、我が子だけでなく他の生徒の実態をみてもらう、よい機会となった。・学校の環境美化への意識の高揚が図れた。		
今後の研究課題	<ul style="list-style-type: none">・コーディネーター役の方、また、委員を中心とした地域人材の活用の在り方を具体的に考え取組を進めていかねばならない。・校区が広くなり、それに伴い地域の実態がそれぞれ違い、同じ目線で一斉に活動していくことの困難さがある。・地域、学校が共に、それぞれ生徒の学校での生活の様子、地域での生活の様子を共有できる仕組みが必要と思われる。		
学校サイボウズ による情報発信 の成果物等	<ul style="list-style-type: none">・学校便りに活動の様子を掲載・ホームページに「成果と課題」を掲載		